評議会だより

第四七三回評議会

平成六年十二月十三日(火)

(新評議員の紹介)

三國　英實（生物生産学部　教授）

(教員選考報告)

理学部附属宮島自然植物実験所

助教授　中野　武登（島嶼環境植物学）

医学部

教　授　菊池　章（生化学第一）

医学部附属病院

講　師　内富　庸介（精神科神経科）

工学部

助教授　正藤　英司（環境基礎学）

講　師　岡本　裕幸（機械設計工学）

(報　告)

一、広島大学附属図書館長候補者の選考日程について

平成七年一月十九日　選考委員会委員及び館長候補者となるべき者の推薦締切

平成七年一月二十五日　第一回選考委員会

平成七年一月三十一日　第二回選考委員会　投票

二、広島大学名誉教授授与規程等検討委員会報告について

①教授としての通算勤務年数は十五年以上とする。ただし、本学教授として七年以上勤務したことを要する。

②顕著な功績についての具体的な取扱い―学術上の功績だけでなく、教育上の功績や大学への貢献度も考慮する必要がある。

以上を骨子とした名誉教授授与規程等の見直し案が報告された。

(議　事)

一、外国人教員の任期について

外国人教員の任用に関わる申合せでは、任期は三年となっているが、法学部のジョン・エドワード・ピックロン教授（米国）及びアンナ・マリア・バルテルスーイシカワ助教授（ドイツ）の任期は、特例として二年とすることが承認された。

二、青雲寮の入寮募集停止措置の解除について

「青雲寮について、入寮募集の停止を解除する」旨の告示が承認された。

三、平成八年度入学者選抜大学入試センター試験及び個別学力検査の実施教科・科目等について

工学部の個別学力検査に関わる事項の変更が、原案のとおり承認された。

四、平成九年度入学者選抜大学入試センター試験及び個別学力検査の実施教科・科目等について

原案のとおり承認された。

留学生懇親会開かれる

留学生を囲む恒例の外国人留学生懇親会が、十二月九日(金)広島ターミナルホテルで開催された。

懇親会は、外国人留学生とその家族、学長及び各部局長、外国人客員研究員、指導教官をはじめとする学内、学外関係者など約七百八十人が出席して行われた。

初めに原田学長からアジア競技大会への協力に対するお礼を込めた挨拶に続き、来賓代表の越智ひろしま国際センター常務理事、留学生代表の金根五氏（韓国）の挨拶があり、西川理学部長の発声で乾杯した。本学の学生サークル「邦楽クラブ」による琴、三味線、尺八の演奏のあと、各国留学生による歌、演舞、ピアノ演奏など各種出し物があり、終始なごやかな雰囲気のうち午後八時に閉会した。

なお、本学には、平成七年一月現在六十一か国（地域）五百七十九人の留学生が在学している。

（学生部留学生課）

家族連れで懇親会に参加する留学生も多い

平成六年度教育研究学内特別経費の配分決まる

学長科研といわれているものである。一般研究十六件五八五〇万円、特定研究（西条キャンパスにおける環境保護に関する研究）二件七〇〇万円、特定研究（省エネに関する研究）一件五〇〇万円、研究経費以外の経費（広島大学海外広報ビデオの作成、西条団地緑化に伴う土壌改良など）四件一五〇〇万円の計八五五〇万円の配分が決まった。

広島大学公開講座をさらに充実

平成七年度以降の公開講座の実施に関する基本方針がまとまり、本学の統合移転を機に、公開講座をさらに充実していくことになった。講座の内容は大学が行う高度なものとし、担当する学部等の特色が出せるものにする。また、地域との連携協力を図るため、県内各地域への出張講座を学部等が輪番で実施する。

E－mail でどうぞ
－広報委員会からのお知らせ－

広報委員会のためのメール・アドレスができました。今後，構成員の皆さんと広報委員会との間で，リアルタイムの相互連絡が可能になります。また，これまで学内便などで送っていただいておりましたフロッピー原稿も，メール経由で送っていただくことができます。

メール・アドレスは，koho@ue. ipc. hiroshima－u. ac. jp です。投稿，質問，要望などを歓迎いたします。ご利用ください。

今後，広報委員会は，HINET をどんどん利用していく予定にしております。これに関するご意見もメールでお願いいたします。

広大病院「第九回クリスマス会」開催

医学部附属病院では、昭和六十一年から恒例の「クリスマス会」を開催しており、今年も、去る十二月二十一日(水)午後六時から外来棟ホール及び各病棟で、入院患者さんや職員約五百人が参加して盛大に行われた。

クリスマス会は、クリスマス実行委員会（診療科、看護部及び事務部で構成）を組織し、経費は職員の寄附で運営されている。

第一部は外来ホールで行われ、授乳所「たんぽぽ」の乳幼児による歌と遊戯で始まり、院内学級の児童・生徒による合奏・合唱、看護婦によるダンス、護室内管弦楽団による演奏、混合唱団ペガサスによる合唱などを多彩に行い、途中、飛び入りのピアノ演奏もあり、クリスマスムードを大いに盛り上げた。

引き続き各病棟において第二部が行われ、各病棟ごとに、医師の扮するサンタさんがクリスマスカード及びプレゼントを持って病室をまわり、患者さんを感激させた。

（医学部総務課）

院内学級の児童・生徒による合奏